

学修目標

組織標本の観察を通して、口腔諸組織の組織構造と発生過程を理解する。また、乳歯の形態的な特徴や発育に伴う歯列の変化を、歯型彫刻や歯列模型上での計測を通して学ぶ。

- 教科書：1. 平成26年度発生学実習マニュアル(オンライン無償配付)
2. カラーアトラス口腔組織発生学 第3版(わかば出版)
- 参考書：口腔の発生と組織 第2版(南山堂)
- 授業時間：金曜14:00～16:50 全8回
- オフィスアワー：磯川 桂太郎 月曜日 12:00～13:00
- 成績評価：第8回に実施する実習試験で評価・判定するが、実習中の小試験の結果と受講態度を加味する。
- 注意事項：
 - ・ 第1-3回の実習では3 group で実習課題3つ[A, B, C]をローテートするため、第2, 3実習室と第2 学年講堂で受講する。
 - ・ 実習マニュアル、講義ノート、色鉛筆(12色程度)を用意。白衣着用。
 - ・ 実習の進行や理解、受講態度等に問題がある場合、補完措置を課す。
 - ・ やむなき事情により実習を欠席する/した場合は、事前あるいは当該実習日の翌日までに自分で担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。
- 準備学習：必ず事前に実習マニュアルやカラーアトラスを読んで実習の内容を理解しておくこと。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第1-3回 10月3日 10月10日 10月17日 湯口 眞紀 磯川 桂太郎 白土 昌之 菱川 秀樹 若尾 孝一 藤波 一典 篠塚 恵造 鈴木 里恵 金沢 紘史	1. 体節の発生 [課題A] 2. 骨発生 [課題B] 3. 筋発生 [課題C]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期胚の組織標本の観察と課題シートでの順次設問への解答作成を通して、体節 somite の形成・分化の発生学的特徴と運命を整理・理解する。 ・ 軟骨内骨化と膜内骨化を認めうる組織標本の観察と課題シートでの順次設問への解答作成を通して、2つの骨発生様式と置換骨・膜性骨との関係、分布、特徴を整理・理解する。 ・ ヒト顎部5カ月齢および9カ月齢の組織標本の観察と課題シートでの順次設問への解答作成を通して、顎顔面部の発生する主要な諸筋の由来、分布、神経支配を整理・理解する。
10月31日～12月5日の金曜午後の実習は『口腔組織実習』を行う		
第4回12月12日 本田 雅規	4. 歯の形成 1) 蕾状期の歯胚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顎顔面の各部と歯胚の発育状態を比較し、歯堤から歯胚の各ステージへの発

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
湯口 眞紀 鳥海 拓 大津 博司 斎藤 登 高木 英男 森川 保 篠塚 恵造 鈴木 里恵 金沢 紘史	2) 帽状期の歯胚 3) 鐘状期の歯胚	生が進行する過程を学ぶ。 ・ 蕾状期，帽状期，鐘状期の歯胚に見られる次の組織，細胞，諸構造の組織学的な特徴，発生にともなう変化を理解し，顕微鏡下で“見られて見せられる”ようにする。 歯堤，歯蕾，エナメル器，外エナメル上皮，内エナメル上皮，エナメル芽細胞，星状網，中間層，歯乳頭，歯小嚢，代生歯堤，代生歯胚，歯頸彎曲，Korff 線維，上皮真珠
第5回 12月19日 本田 雅規 他	5. 歯の形成 4) 退縮エナメル上皮 5) 歯根の形成 6) 乳歯の脱落と交換	・ 歯根形成，歯の萌出，脱落・交換と関連して見られる次の組織，細胞，諸構造の組織学的な特徴，発生にともなう変化を理解し，顕微鏡下で“見られて見せられる”ようにする。 Hertwig 上皮鞘，上皮隔膜，セメント芽細胞，象牙芽細胞，Sharpey 線維，Malassez 上皮遺残，退縮エナメル上皮，破歯細胞，歯導管
第6回 1月9日 高森 一乗 白川 哲夫 新國 七生子 佐藤 妃枝子	6. 乳歯の形態的特徴 1) 乳歯のスケッチ	・ 乳歯独自の形態的特徴を臨床的視点に立って理解する。 ・ 乳歯と後継永久歯の形態的な違いを，それぞれの歯のスケッチにより理解する。
第7回 1月16日 高森 一乗 他	7. 乳歯列の特徴 1) 歯列模型の計測と分析	・ 乳歯列の形態的な特徴を把握し，その成長による変化について理解する。 ・ 乳歯列の計測法を知り，その意義を理解する。
第8回 1月23日 磯川 桂太郎 本田 雅規 湯口 眞紀 鳥海 拓 白川 哲夫 高森 一乗	8. 実習試験	・ 第1～7回の実習を範囲とする試験を実施する。詳細は別途通知する。